

水産の窓

長期漁海況予報（令和5年1月～6月の予測）について

令和4年12月20日～21日に令和4年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、23日に公表されましたのでお知らせします。予報内容の詳細については本文を参照ください。（予報本文 URL：https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr/2022/20221223_2/20221223press_2.pdf）

1. 海況

(1) 黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・蛇行北上部は伊豆諸島海域の西側に位置し、熊野灘～遠州灘に近づくことがある。
- ・房総沖では、接岸傾向で推移するが、一時的に離岸することがある。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・黒潮から暖水が波及しやすい。

(3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「平年並」～「高め」で推移する。

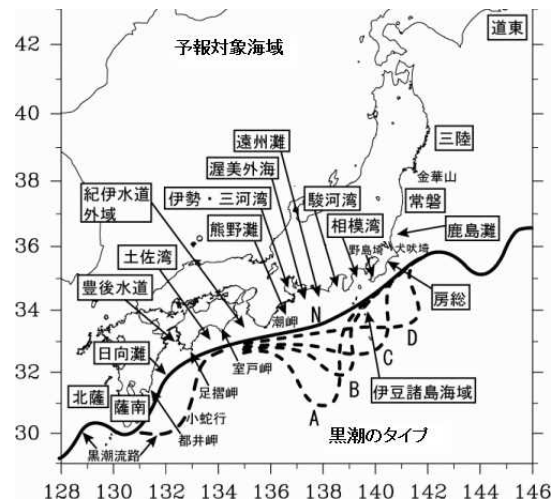


図. 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

(1) マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域：まき網、定置網、底曳網）

①来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年を下回る。5歳魚は前年を上回る。6歳以上は前年を上回る。マサバはまき網では低調であった前年並、定置網、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低調であった前年並。

②漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠埼沖～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では1月、2月および4月以降に漁獲される。三陸海域の底曳網では期を通じて漁獲される。

③魚体 [尾叉長]：マサバは、期を通じて22cm～31cm（3歳以下、体重100g～350g）主体に、1月、2月および4月以降は28cm～37cm（4歳以上、250g～600g）も漁獲される。

(2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：前年並～上回る。

②漁期・漁場：まき網の漁場は、1月は常磐南部～三陸南部海域、2月～5月は犬吠埼沖～常磐南部海域、6月は犬吠埼沖～三陸南部海域で形成され、6月下旬には道東海域でも形成される。定置網では、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

③魚体 [被鱗体長]：10cm～15cm前後（1歳魚、体重10g～35g）、13cm～17cm前後（2歳魚、25g～60g）、15cm～20cm前後（3歳魚、35g～90g）、17cm以上（4歳以上、60g以上）。

(2) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：房総海域では前年を下回る。三陸南部海域では前年並。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域では主たる漁獲対象とならない。

②漁期・漁場：房総海域の2そうまき網では期を通じて散発的に漁獲される。三陸海域の定置網では1月まで漁獲される。常磐～房総海域、道東海域の1そうまき網の主な漁獲対象にはならない。

③魚体 [被鱗体長]：7cm～11cmの1歳魚（体重3.5g～12g）、9cm～13cmの2歳魚（6.5g～18g）も漁獲される。（回遊性資源部）